



賞状を手にする平田会長

2/15
(金)

菊池市子ども会育成協議会長が「第41回(平成19年度)全国子ども会連合会」表彰を受賞

2月15日(金)から2月17日(日)まで福島県いわき市で開催された「全国子ども会育成中央会議・研究大会」で、菊池市子ども会育成協議会長の平田順一さんが、長年の活動を評価され表彰されました。

平田さんは、昭和62年から旧七城町子ども会育成会会長を務められ、子ども会の育成に尽力をされてこられました。合併後も新しく発足した菊池市子ども会育成協議会の会長として、子ども会大会を開催するなど、各地域間の交流と子ども会活動の活性化に取り組んでおられます。

また、平成18年6月からは熊本県子ども会連合会副会長として、ジュニアリーダーの育成などにも活躍しておられます。今後の活躍が期待されます。

2/17 (日) 姫井地区の姫井橋で 記念碑除幕式

旭志の姫井地区で姫井橋の土木学会推奨土木遺産認定記念碑の除幕式がありました。

姫井橋は国内で唯一、大正期に完成したコンクリート下路アーチ橋で、現存する同様の橋の中では、国内で最も古いものです。そのため、歴史的価値の高い土木施設であるとして、(社)土木学会より「平成18年度土木学会推奨土木遺産」としての認定を受けました。

「推奨土木遺産」とは、技術・デザイン・地域貢献などの観点から高く評価されているAランクの近代土木遺産の中から選考されるもので、平成12年度より毎年全国で10件ほどの遺跡が認定・表彰されています。

式典で姫井区の水上隆光区長は「この橋を作った先人たちがきっと喜んでいることでしょう。今後もこの橋を地域の皆さんで守り、後世に伝えていきましょう」と話されました。

また、姫井橋の調査研究を行っている熊本大学山尾教授より、姫井橋の意義・価値などについての分かりやすい講演がありました。



姫井橋(右奥)の前であった除幕式に出席した区民など

2/20(水)~2/22(金) 隈府小児童が宮崎県西米良村の村所小児童と交流



歓迎の交流会で隈府小の児童を前に語り部となって民話を披露する村所小の児童

隈府小学校(高村秀夫校長)の5年生児童113人と、村所(むらしよ)小学校(志摩俊明校長)の5年生児童11人が3日間の交流をしました。姉妹都市の児童同士で交流を深めようといわれたもので、「小規模な学校の児童に大規模な学校の雰囲気を感じてもらい切磋琢磨する場になれば」と村所小からの提案で実現しました。

村所小の児童は隈府小5年の3クラスに分かれて一緒に授業を受けたり、合同の合奏などをしたりして交流しました。初日には歓迎の交流会があり、村所小の児童が語り部となって3年生の総合学習の時間で学んだ、地元で伝わる伝説の生き物「カリコボーズ」にちなんだ民話を披露しました。

2/2(土)~2/4(月)

市民交流団が遠野市と交流

友好都市の岩手県遠野市を、菊池市交流団員(吉宗信義団長)10人が訪問し、地域の人たちとの交流を行いました。菊池都市間交流の会(富田敬士会長)が募集したもので、今回の参加者は、今後同会のメンバーとなり交流活動を続けます。参加者のひとり、前川薫さんの研修報告を紹介します。



遠野市を訪れたメンバー

遠野市との市民交流を通して

(平成19年度菊池市交流団員 前川 薫)

今年度の遠野市との都市間交流団の一員として2泊3日の研修に、宮崎県の西米良村の交流団と一緒に参加してきました。菊池市からの交流団員は10人で、それぞれが遠野に行きたくて学びたい事を持って熊本を出発しました。

「遠野の物産品を菊池で販売出来ないか?」、「遠野の特産品を使って商品を作れないか?」、「遠野の食育はどの様に行われているのか?」、「伝統ある祭りは何の様に親から子どもたちへと受け継がれているのか?」など……。皆さんが持っている探求心は素晴らしいものだと感心することが多く、お

互いが色々な分野で刺激あって更に勉強になったと思います。

遠野市では皆さんが温かく出迎えてくださり、以前からの友人に会った様な心と日々でした。団員の皆さんは、ただの交流だけではなく、帰ってからでも学んで来たことを菊池市で活かせるように活動中です。私たちの交流は終わったのではなく……。始まりだと思っています。

2/4
(月)

吉岡 勇さんが第5回「真の日本のすまい」提案競技で 文部科学大臣賞を受賞



今回提案された住まいの内部空間のコンピュータグラフィックス

これからの住まいのあり方を提示する「真の日本のすまい」提案競技(財団法人住宅産業研修財団主催)で、泗水町亀尾の建築設計事務所「吉岡アトリエ」代表の吉岡 勇さんが、文部科学大臣賞を受賞しました。

全国から136件の応募があったもので、精神的な豊かさを住まいの中に取り入れることを一番に考えた家が提案されています。受賞作品は、唯一求められた提案性に建築家として正面から向き合い、都市の中で現代的な魅力を持った生活空間を刻んだ案として高く評価されました。

吉岡さんは「家は家族に影響を及ぼすものだと考えています。私のこの活動が地域づくりや人づくりにつながればと思っています」と話されました。今後益々の活躍が期待されます。

2/17
(日)

菊池市退職校長会が菊池公園に 桜の木を寄付

菊池市退職校長会「さくら会(木下昭二郎会長)」から、菊池公園ゲートボール場内に桜の木(ソメイヨシノ)5本の寄付がありました。市町村合併に伴って同会も合併し、その記念に贈られたものです。

市民の皆さんのご利用をお待ちしています。寄付、ありがとうございました。



菊池公園ゲートボール場内に植えられたソメイヨシノ